

# 第10次派遣(住田) 7月3日(日)~7月9日(土)

福田 明彦さん (中央)

上田 裕行さん (長野)

班長：新谷 可充さん (中国)

葛目 太一さん (四国)

## 《全労金第10次派遣者が出発しました！！》 7月3日



《左から、福田さん、上田さん、葛目さん、新谷さん》

今日はボランティアメンバーの入替日です。

全労金第9次派遣として活動された近畿労組の三田さんと神橋さん、九州労組の長野さんと山下さんの4名は、無事に東京へ到着しました。この間のボランティア活動、大変お疲れ様でした。

そして、今日から全労金第10次派遣として、中央労組の福田書記次長、長野労組の上田委員長、中国労組の新谷書記次長、四国労組の葛目副委員長の4名が住田ベースキャンプに向けて出発しました。

第9次以降のボランティア活動期間は6泊7日(実働5日)になりましたので、7月9日までの活動となります。

全国の組合員のみなさんから、4名に対する熱いエールをお願いするとともに、団結の輪を広げていただくよう、よろしくお願ひします。



## 《災害救援開始前夜》 7月3日



朝10時過ぎに連合を出発し、皆さんから早速寄せられたコメントに勇気付けられながら約9時間にも及ぶ長旅を終え、全労金第10次派遣団は住田BCに到着しました。

このブログや先に災害救援参加された皆さんの感想などで、現在の被災地やボランティアの状況を見聞きしてきました。

明日からは、いよいよ自分たちが！という思いで気持ちが高ぶりながらも正直不安な思いも多少は抱き、初日の夜を過ごしています。皆が繋げてきた思いをしっかりと引き継ぎ明日からの活動を精一杯頑張ろうと決意を新たにしました。

作業は大船渡が中心になります。明日以降このブログで活動を報告していきます。

コメントをいただいた皆さん本当にありがとうございました！皆さんにいただいた元気で明日から元気に頑張ります！（中国労組 新谷）

## 《第10次ランチタイム報告(1日目)》 7月4日



《今日のランチと今日の第10次メンバー》

「あきらめたらそこで、試合終了だよ」…あれ？ 誰の言葉でしたっけ？

本日のランチタイム報告です！我々の今日のミッションは…「ホテル福富の再開に向けた復旧作業」です。ホテル福富は、大船渡の海を目前にし、津波の影響をモロに受けたホテルです。詳しい内容については、夜の更新担当者に任すとしまして一簡単に作業内容を言いますと、正にTHE瓦礫撤去！目の前に積み重ねられた瓦礫を…泥を…、ただひたすら撤去する作業を続けています。

さて、美味しいランチもいただきましたし、「あきらめずに午後も作業、がんばります！」（四国労組 葛目）

## 《活動初日の福田さん85kg》 7月4日



我々全労金は、全水労、JR総連の皆さんと大船渡で活動することとなりました。お昼の報告の通り、午前中は瓦礫撤去、午後は側溝の泥上げ作業を行いました。ホテルは、70代のご夫婦が営んでおられ、震災当日は、3階で難を逃れたそうです。そこから、夫婦二人でコツコツ片付けを続け、再開の目処が立った上での依頼でした。我々の出来ることは限られていますが、奥さんからは感謝の言葉が述べられ、逆に申し訳ない気持ちにされました。ボランティアとは、「やむにやまれぬ思い」で動く事、と言われます。我々第10次のメンバーは、当初緊張と不安に駆られていましたが、今は、「やむにやまれぬ」気持ちで明日を迎えようとしています。全国の仲間と共に、がんばります。最後に9次の皆さんからのタスキならぬタオル、確認いたしました、皆さんの情熱を受けついで活動に臨みます。以上、上田でした。

## 《ランチタイム報告(2日目)》 7月5日



《午前の活動風景と今日のランチ》

「できるかどうかじゃない！やるんだっ！」あれ？ …誰の言葉でしたっけ？

本日のランチタイム報告です！我々、全労金チームは全水道のみなさんとの7名体制で、昨日同様、大船渡での活動です。今日の作業は一個人宅の土に埋もれた側溝を掘り起こす、正にTHE土堀！

日射しがかなり厳しいですが、「やるんだ！」の気持ちでがんばります♪

あ、そうそう…昨日のアノ言葉、安西先生の名言でしたね(´▽`) (四国労組 葛目)

## 《活動二日目の福田さん84Kg》 7月5日



ランチタイム報告でもありましたが、活動二日目は個人宅の側溝の泥上げと瓦礫の撤去と土のう作りでした。側溝といっても深いところで股下くらいの高さになり悪戦苦闘しましたが全水道と全労金の7名でこなすことができました。

個人宅の方には、『自分達の家も津波で全壊し、自宅跡地もつい最近までは瓦礫の集積所になっていて片付けができなかった。来ていただいて本当に助かった。今日が我が家の復興初日です。』と、言っていました。

そして、お茶やお菓子・最後には冷やしたさくらんぼまでいただきました。涙が出ます。こちらこそ、ありがとうございました。少しでも、お役に立てて何よりだったと実感した出来事でした。

朝の時の天気予報は晴れで炎天下の作業を想像してましたが、比較的曇り空で風もあり、好条件の作業でした。明日も炎天下での作業でないことを祈ります。

救済ボランティアの帰り道で毎日入浴施設に行き、お風呂に入りますが、そこで石巻で被災されている方にお話をお伺いすることができました。現在も小学校での避難所生活をされていて、自宅は津波で流され跡形もなく、もう海の近くには住みたくないとのお話でした。高台に土地を探して家を建てようと建築業者に相談したところ、依頼が多く着工まで一年以上かかると言われたとのお話でした。震災以前の平穏な生活に戻るまでには、数年の歳月がかかることを痛切に感じました。

みなさん、ぜひともブログにコメントをしてください。参加している我々の励みになります。明日以降の報告にご期待下さい。題名以外は福田の報告でした。

## 《ランチタイム報告(3日目)》 7月6日



「目が前向きに付いてるのは、なぜだと思う？前へ前へと進むためだ！」あれ？誰の言葉でしたっけ…？

本日のランチタイム報告です！午前中、我々全労金チームのが活動を行う場所は、昨日と同じ、個人宅の敷地内でした。そして、メンバーも昨日同様、全水道の3名とのマッチング♪詳しい報告は、夜の担当者に任すとしまして〜本日の作業内容は、正にTHE遺跡発掘！津波により敷地内に流れ込んだ瓦礫、土、石、ガラスなどを仕分けながら、できる限り、きれいな状態にするといった作業です。地味ですが、きつい作業…前へ前へと進んで、がんばります！

あ、そうそう…昨日のアノ言葉は、カイジが言った名言でしたね(´▽`)オモイダシタヨ (四国労組 葛目)



《今日の活動風景と……あ、写真撮る前に食っちゃった(汗)》

## 《活動3日目の福田さん82.5kg》 7月6日



ランチタイム報告でもありましたが、昨日同様の作業場所で今日はひたすら瓦礫・石・ゴミの撤去作業でした。ジリジリと照りつける太陽の下、全水道、全労金の7名で作業にあたりました。地道な作業で、こちらのご家族だけでは相当な時間を要することが容易に想像でき、少しでも負担が軽減できれば…という思いで全員が活動しました。長丁場と言えど私達が作業する時間には限りがあります。でもこのご家族を含め、被災された皆さんはこうした復旧作業がまだまだ続きます。そういう事も考えれば、自分たちの力がいかに微力かを痛感しました。ただ、無力ではありません。皆さん！ここに来ることが全てではないですが、地元から何ができるかを考える気持ちと、ちょっとした事でも行動に移す事が重要です！今更ではありますが取って声に出して言いたい事です。蘇れ大船渡！蘇れ東北！ここに来てる四人も、たった四人ではありません。皆さんの声、皆さんの応援をしっかりと感じ、支えられて活動しています。今日でボランティアも折り返し。皆さん！共に頑張りましょう！！（中国労組 新谷）

## 《ランチタイム報告(七夕)》 7月7日



「笑えばいいと思うよ。」あれ？ 誰の言葉でしたっけ…？

本日、七夕のランチタイム報告です！活動場所、内容、メンバーともに昨日と同様とあって「あ・うん」の呼吸で一作業はどんどん進んでいます。そして、何よりも本日からTHEマシーンが投入されたことが、作業効率を大きくアップさせています！ただ…新谷さんが、何やら使用方法を間違えているようですが(´φφ`)

活動も4日目となり、疲労の蓄積は隠しきれません。だからこそ、活動中は辛い顔はせずに「笑って頑張ろう！」の気持ちでがんばります！

あ、そうそう…昨日の言葉はのび太の担任の先生の名言でしたね(´▽`)オモイダシタヨ



《今日のメンバーとライダー気分の新谷さんと今日のランチ》

## 《班長！》 7月7日



全労金第10次派遣団班長は最年少の私、新谷が仰せつかっておりますが、日々の作業グループの班長は、この方。全水道・東水労の柳沼さんです。物静かで、人当たりも柔らかい雰囲気は、写真から皆さんにも伝わるかもしれませんね。でも、当然それだけではありません。日々の作業では率先して先頭に立ち背中ですっきりと語ってくれる頼りになる班長です。1日の最後に開催される班長会議では、他のグループとの連携を図りつつ、しっかりと私達班員の思いを反映してくれています。今はグループが2つに分かれて作業していますが、11名の大所帯をまとめる班長に感謝です!! (中国労組 新谷)

## 《活動4日目の福田さん84kg》 7月7日



昨日、一昨日に引き続いて、同じお宅での作業となりました。全水労さんとは、夜の交流も含め正に「同じ釜の飯を食った仲」であり、意志疎通もバッチリで柳沼班長の指示のもと、黙々と作業をこなしていきます。しかしながら、作業自体は、更地を掘り起こしながらの瓦礫撤去作業で、掘っても掘っても瓦礫が止めどなく出てくるような状態で、3日間でのべ21人で作業にあたったにもかかわらず、成果自体はとても満足できるものではありません。そんな微力な我々に、そのお宅では、毎日冷たい飲み物や美味しい漬物を差し入れてくださいました。本日をもって、このお宅での活動は、終了となります。まだまだ道なかばであり、「本当に自分たちは、このお宅から去っていいのか」と後ろ髪を引かれる思いで現場を後にしました。まだまだ、このお宅、この地にはボランティアの力が必要であり、そもそもボランティア派遣を依頼しない方が多い実態を垣間見ることができました。今日は七夕祭りです、あちこちに七夕飾りがあります。しかしながら、子供が書いた短冊の願い事は、およそ普通の子供たちとはかけ離れた願い事ばかりです。「家族と一緒に暮らせますように」「早く新しいお家に入れますように」などの言葉が並びます。我々がやるべき事はまだ沢山あります。全労金第10次メンバーも疲れはあるものの、まだまだ元気です。また、全国の仲間の応援メッセージ、本当に力になります。皆さんの応援で気力充実です。明日は早くも最終日となりました。最後まで気を抜かず、全力で作業にあたります。（長野労組 上田）

## 《ランチタイム報告 THE ファイナル》 7月8日



【《今日のランチ、ベースキャンプの様子、集合写真、等々》】

「1 + 1は1よりも大きいよ。助け合うのは当たり前じゃない！」あれ？ 誰の言葉でしたっけ…？

全労金第10次派遣、最後のランチタイム報告です。天候は曇り、昨夜から余震が何度か続いています…そんな中、本日の我々の活動は一大船渡にて、2階まで津波による被害を受けた個人宅の内壁剥がしがメインです。ハジメテノオクナイサギョウ(´φφ`)♪

我々の活動の原点は「助け合い」！正直、肉体的にはかなりキツイはずのメンバーなのですが、最後まで笑顔を絶やさず頑張っています！

そうそう、昨日のアノ言葉は一碇シンジの名言でしたね(´▽`)オモイダシタヨ  
ということで、第10次最後のランチタイム報告でしたー (四国労組 葛目)

## 《最終日です》 7月8日



とうとう我々第10次派遣のボランティア活動が最終日となりました。朝まで雨が降っていたのですが、出発前には雨も上がり、曇り空の過ごしやすい日でしたがかなり暑かったです。ランチタイム報告でもあったように個人宅での初の屋内作業で浸水した2階の内壁剥がしとその撤去です。今日は日教組と全労金の8名での初めての活動でしたが、寝食をともにしたこともあり、『あ、うん』の呼吸で作業を終えました。個人宅の方には冷たい飲みものや感謝の言葉を頂きました。少し回り道になりますが帰りに、陸前高田の状況を目の当たりにしました。テレビ報道でもありましたが、建物のほとんどが津波で流され、沿岸部は海水で浸水しています。計り知れない津波の脅威に愕然たる思いですが、生きている我々がこれから復興への足掛かりを一步ずつ踏みしめて行かなければならないと強く

思いました。このまま帰ってよいのか、自分達は被災地・被災者のために少しでも手助けが出来たのだろうかと自問自答しましたが、今後派遣される第11次以降の派遣団に思いを託し、また、我々メンバーもこれからできる限りのことをしようと決意し、現地を後にしました。以上、報告は福田でした。以下に、各参加者からの感想です。

#### 《中国労組 新谷》

「あっ！」と言う間に5日間が過ぎました。先日のブログでも、触れましたが、長いようで短い。岩手県に、大船渡に後ろ髪を引かれる思いです。ボランティアの依頼主さん達は、自分たちが大変な状況にも関わらず暖かく受け入れて下さいました。その方達が時折見せてくれる笑顔に、復興に向けた一步を確かに踏み出した皆さんの強さを垣間見ました。4ヶ月近く過ぎての第一歩。その歩みはまだ遅く、これから莫大な時間を要するでしょう。ただ、着実に前進しています。ここに住む人達の、復興に向けた覚悟と、強さを胸に帰路につきます。そして、ブログを見てくれた皆さん、コメントをいただいた皆さん。本当にありがとうございました。皆さんとの繋がりを感じながら、日々を過ごせた事に感謝です。

#### 《四国労組 葛目》

今回、我々が岩手で活動することができた期間は、わずか5日間でした。報道等で「ボランティアの人員が余っている。」といったような事が伝えられたりもしていますが、それは、大きな間違い。人手が全く足りていないのが実情…と感じています。被災地の復興における作業では、機械や重機ばかりに頼ることはできません。最後は、人力…それも、膨大な数の人力が必要です。今回、ボランティア活動に参加することにより、本当に微力ながら復興へ向けた手助けになったと信じています。しかし、まだまだ足りていません、人力が足りません！！今後も全労金として、いや、日本人として…被災地のみなさんの「普通の生活」を取り戻す為に、今できる事をやるべきだと強く感じました。最後に…上田さん、福田さん、新谷さん、キツイ活動を笑顔を絶やすことなく乗り切れたのは、このメンバーだからこそだったと思います。ありがとうございました！

#### 《長野労組 上田》

最終日に陸前高田の惨状を目の当たりにし、自分たちの活動がどれだけのものだったか、改めて考えさせられました。初日に訪問したホテルの向かいにあった信用金庫の壁のカレンダーは、「3月11日 金」で止まっていました。しかし、被災した方たちは決して立ち止まらず、一步一步、歩みは遅くとも着実に復興に向け前進しています。我々も支援の行動を止めるわけにはいきません。引き続き全労金の、絆や思いやりの気持ちに裏打ちされた力が必要とされています。皆で行動しましょう！

つながろう全労金、つながろう、NIPPON！

## 《午前5時》 7月9日

午前5時。東京駅に到着。これから現地で経験した様々な事、思いを胸にそれぞれの帰路につきます。第11次のメンバーの皆さん。今は不安もあろうかと思いますが、大丈夫です！皆さんを待っている地元の方、皆さんと同じ思いで集まって来る仲間、そしてブログを通じて応援してくれる仲間がいます。現地も暑いです。無理だけはせず活動してください！（中国労組 新谷）



以 上